

開学 50 周年記念事業寄附金の贈呈式

株式会社ヒミカ様より、開学 50 周年記念事業へのご寄附として壱億円を賜ることとなり、10 月 21 日（火）に本学にて贈呈式を執り行いました。

同社は、社員に本学の OB が多い豊橋市内の IT 企業で、2019 年に創立 50 周年を迎えられ、これを記念したプログラミングコンテスト（TUT-HIMIKA AI Trial 2019 for IT 農業）へのご寄附をはじめ、長きにわたり本学の教育・研究活動、特に学生支援にご理解とご協力をいただいております。

贈呈式には、株式会社ヒミカ代表取締役社長の高城一晃様、常務取締役管理本部長の高橋秀典様、本学から若原昭浩学長、神保睦子理事、井上光輝理事、山口茂理事及び中澤祥二基金室長・学長特別補佐が出席し、目録の贈呈があり、本学からは感謝状の贈呈が行われました。

高城社長からは、大学を通してともに東三河に貢献したかったとのご説明があり、若原学長からは、温かいご支援への深い感謝とともに、今回の寄附金を未来への新たなスタートを切るための重要な資金として活用する旨が述べられました。

寄附金は、地域に開かれた大学の機能をさらに強化するために使用し、地域の皆様、企業技術者の皆様と学生が自由に集い、共創活動を通じて、未来を作り上げる活動の場として、「イノベーション・コモンズ」を整備します。

これらの整備を通じて、本学は教育・研究の質の向上はもちろん、地域貢献・地域振興により一層寄与してまいります。

贈呈式の様子



前列左から神保理事、若原学長、
高城様、高橋様
後列左から中澤基金室長、井上理事、
山口理事